ネット販売を高校生が学ぶ
Yahoo! JAPAN「デジタル人材育成プログラム」

7月から三井中央高校（北野町）で、「デジタル人材育成プログラム」が行われています。講師としてYahoo!JAPAN、商品提供としてアサヒシューズと地場産くるめが協力。県内の高校で初の取り組みです。全7回の授業で、期間限定のネットストアを実際に開設します。

マーケティングの基礎や商品の選定などを通して、地域の商品の魅力再発見や、ネット販売でのノウハウの習得が目的です。今年は20人の生徒が受講しています。

商品と前提条件の設定によって、マーケティング結果が変わることをカードゲームで体験

耳納北麗の恵みを味わう
ジェラート総選挙

耳納北麗地域のジェラート街道が舞台の「ジェラート総選挙」の開会式が、7月16日に行われました。今年から、うきは市の1店が加わり、全9店舗を結ぶ「ジェラート街道」は約12㎞になりました。

つばき油やマンゴー&イチゴ、ネクタリン、キウイミルクなどの地元のフルーツや特産品をふんだんに使った13種類を販売。お客さんの人気投票で順位が決まります。投票期間は9月末まで。

各店舗が丹精込めて作ったジェラート

20m完走を目指して
水上ござ走り体験会

7月15日、三潴B&G海洋センタープールで水上ござ走り体験会が開かれ、小学生から大人まで約100人が水面を走りました。

海の日の恒例行事として昨年から開いています。水に浮かんだ20mのござは体重が大きく影響するため、小学生は次々と完走するも、大人は数歩が限界。永田匠さん（犬塚小5年）は「3回中2回完走しました。すぐ次の足を出すのがポイント」と話しました。

バランスを取りながらござの上を走り抜ける子どもたち

自分で靴底 貼り付けたよ
アサヒこどもスニーカー手づくり教室

7月22日から30日までの平日、アサヒシューズで、小学生対象のスニーカー手作り教室が開かれました。全日程で定員の24人を大きく上回る申し込みで、人気の教室です。

足の形の金型を使い、アッパーと中底、底などを接着。最後に加硫釜の熱で密着させて、世界で一つだけのスニーカーが完成しました。岩佐樹希さん（水縄小5年）は「こんなに手間がかかると知って、靴を大切にしようと思った。今日作った靴はお出掛けの時に履きます」と話しました。

同社OBの指導を受けながらアッパーと中底の接着作業

みんなで地方創生を考える 地域デザインラボ展を開催

7月3日、久留米シティプラザで、地域の課題解決のために、市民や企業、行政が情報交換と議論を行う「地域デザインラボ展」が開かれ、約100人が参加しました。

Yahoo!JAPANが主催。冒頭、大久保勉市長が、久留米の課題と目指す姿についてプレゼンしました。これを基に、「安全まちづくり」「観光誘客」「消費拡大」「多様な働き方」のテーマを設定。数人ずつの班に分かれて、長期構想や民間企業・商品・サービスの活用法、社会課題へのアプローチ、3年間の実行計画などを考えるワークがありました。

進行役が「企業活動による課題解決ありきで考えると、市民協働が進みにくい。一方、社会課題への市民ニーズを優先すると、企業との公民連携が進みにくくなる」と助言。最後は全ての班が、それぞれに考えた計画を発表しました。

問創生戦略推進室（☎0942・30・9116、FAX0942・30・9703）

企業に所属する人も自営業の人も立場を超えて、自由に議論しました

「パトラン」初参加

犯罪や青少年の非行を防止するため、地域や事業者の皆さんによる合同防犯パトロールが7月19日に開催されました。走って街をパトロールするボランティア「パトランKurume」が初参加。代表の栗原咲子さん（合川町）は「自分たちの健康増進で始めたランニングも、少しずつ地域の安全安心を守りたいという意識に変わってきた。気軽にできる防犯活動として仲間を増やしながらやっていきたい」と語ってくれました。

問安全安心推進課（☎0942・30・9094、FAX0942・30・9706）

集結した青パトと走るパトランの皆さん

あと1年、興奮迫る

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、ケニアとカザフスタン選手団の事前キャンプ地となった久留米市。開会式のちょうど1年前となる7月24日に、JR久留米駅や西鉄久留米駅などでPR活動を行いました。

両国の紹介などが載ったリーフレットや、事前キャンプを記念した缶バッジとケニア産紅茶のティーバッグを配布。同日に特設サイトも開設し、イベント情報などを発信していきます。

問体育スポーツ課（☎0942・30・9226、FAX0942・38・2259）

事前キャンプ特設サイトへ
詳しくはQRコード

通勤中の多くの人がリーフレットを手に取っていました